

第10回勝山市生活交通地域協議会 会議録要旨（平成29年度 第1回）

1.開催日時：平成29年6月5日（月）15時35分～16時10分

2.開催場所：勝山市役所 3階 第2・3会議室

3.出席委員：

委員	福井大学大学院 教授	川上 洋司（座長）
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局 首席運輸企画専門官	畑 憲治
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局 運輸企画専門官	平井 早苗
	福井県総合政策部 交通まちづくり課長	猪嶋 宏記 （代理 堤 宗和）
	奥越土木事務所 勝山維持管理課長	鈴木 常仁
	勝山警察署 交通課長	加藤 明宏
	勝山市区長連合会 会長	杉平 信夫
	勝山市高齢者連合会 代表	斎藤 甚三郎
	勝山市民生委員児童委員協議会 会長	松井 誠一
	えちぜん鉄道株式会社 営業開発部 部長	佐々木 大二郎
	京福バス株式会社 経営推進室 企画営業グループ 部長	矢部 良智 （代理 山崎 森央）
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	竹田 幸弘
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦
	福井県交通運輸産業労働組合協議会 勝山市副市長	森 司
	勝山市教育部長	松村 誠一
	勝山市建設部長	平沢 浩一郎
	勝山市商工観光部長	酒井 与志弘
	勝山市健康福祉部長	水上 実喜夫
	勝山市市民生活部長	松井 隆治
事務局	勝山市市民生活部市民課課長	中山 弘之
	主任	河野 誠
	主査	森 弘章
		石田 剛士

4.欠席委員：なし

5.傍聴人の数：0人

6.報告事項

- (1) 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の二次評価結果について

7.議題

- (1) 平成30年度生活交通確保維持改善計画のローリングについて

8.会議資料

資料1 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の二次評価結果について

資料2 平成30年度生活交通確保維持改善計画のローリングについて

9.議事等内容

- (1) 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の二次評価結果について
- (2) 平成30年度生活交通確保維持改善計画のローリングについて

座長 29年度の取組み予定ということで、今回の会議で提案されたコミュニティバス等の改正は、市民や運行事業者の意見を取り入れて行っている。きめ細かくニーズを吸い上げて、それに基づいて改善をしているため、しっかり書いた方がいいと思う。えちぜん鉄道の恐竜博物館セット券に市内周遊を追加することについても、鉄道事業者が販売しているチケットと合わせてサービス改善することになるため、ぜひ書いた方がいいと思う。そうすることで、今後どういう効果が出て評価していくPDCAサイクルをしっかりと取り組んでいく必要がある。

座長 この議題についてはこれでよろしいか。

一同 承認

(3)その他

委員 勝山市には恐竜博物館があり外国人観光客が増えている。特に今年は東南アジア系の外国人が多いと感じている。勝山駅からどの路線でどのバスに乗ると目的地まで行けるか分かりやすく説明するために、タッチパネルのような掲示できるものがあると非常によい。乗務員は外国語で対応できないため、タブレットを持たせているが、他の客の対応をしていると、外国

人の対応ができないことが非常に多い。外国人向けの分かりやすい案内が今後できると、非常に外国人には優しい。

- 座長 えちぜん鉄道のアテンダントはどのように対応しているのか。
- 委員 タブレットや筆談で対応している。たまに勝山市のバスについて聞かれることがある。
- 委員 観光の話になるが、周遊滞在型の観光メニューで、勝山市だと大野市と永平寺町との連携になると思うが、公共交通機関を使った商品が今後出てくると思う。そうした時に鉄道とバスを絡めて、今回の恐竜博物館セット券の市内バス周遊追加のように協議する必要がある。
- 座長 公共交通の乗り方だけじゃなくて目的地の案内とか、目的地間の連携とか総合的にやっていかないといけない。市の観光課としては進めているものはあるか。
- 委員 今年度から本格的に大野、勝山、永平寺の周遊観光の取り組みが始まっている。具体的な内容については、インバウンド対応という検討が始まっている。そういった中でまずは英語それから香港、台湾といったところがターゲットになってくると思う。今後の観光の取り組みの中で、公共交通機関の案内などを協議に入れていきたいと思う。
- 座長 新幹線が敦賀まで延伸すれば関西から人が入ってくる。地元に来て即必要な情報を取れる方法を色々考えていかないといけない。
- 委員 利用者が無いまたは少ない停留所は見直すべき。例えば、昭和町3丁目の停留所は、毎日私はその前の道路を通るが、バスに乗り降りしている人を見たことない。このような停留所は市内でもかなりあるのでは。
- 座長 停留所の設置や管理は、道路管理者や行政だけではなかなか行き届かない。地区として主要な停留所はボランティアで維持しているところが多い。えちぜん鉄道の駅もいろいろな形でボランティアが関わっている。いろいろな課題があると思うが、また意見があれば出してほしいし、改善につながってくと思う。
- 委員 少子高齢化で人口が減り、公共交通機関の利用者も減っていくだろうとどこの協議会でもいわれるが、一方で免許返納する人がこれから増えていくと考えると、公共交通機関の利用対象者は増える可能性がある。利用者数は下がり下がりという考え方ではなく、公共交通を利用する対象者は増えていくという状況から、公共交通機関の利用促進策について質問した。第三者評価委員会の評価内容の報告があったが、ぜひ市のホームページに評価結果を掲載して、この協議会でどのように協議し、PDCA サイクルで評価しているのか公表してほしい。この協議会の中だけで議論が終わるのではなくて、広く市民に見ていただきたいと思う。勝山市ではこのような計

画を作り評価をしているということを市民に PR して、それを基に市民の方から意見をいただくようにホームページで意見募集をしていただくよう取り組んでほしいと思う。